

講義コード	11C0118200	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	国際経済学 1					神野 真敏		第 1 期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	海外との貿易や企業のグローバルな活動からたいへん大きな利益を受けています。しかし、貿易による利益は国内の人々に等しくもたらされているとは限りません。海外からの安い輸入品に押されて市場から撤退を余儀なくされた国内生産者や、海外への進出によって雇用の減少や地域経済の衰退も懸念されます。このような海外とのかかわりあいは、複雑な影響を国内にもたらします。この国内にもたらされる影響を理論的に解説するのが本講義になります。								
到達目標	海外との関わり合いが国内経済にもたらす影響を理論的に理解できるようになる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業で扱う内容に関して教科書や参考書を参照して予習してくる事。 さらに、授業後は配布資料と教科書を照らし合わせ、知識の定着に勤めること。 上記の予習と復習に学外において60時間を費やすこと。								
授業計画	【第1回】 講義の概要 【第2回】 世界の通商システムと日本 【第3回】 貿易の基本モデル (1) 【第4回】 貿易の基本モデル (2) 【第5回】 自給自足の均衡 【第6回】 リカードモデル 【第7回】 自由貿易均衡と貿易の利益 【第8回】 ヘクシャー＝オリーソン・モデル (1) 【第9回】 ヘクシャー＝オリーソン・モデル (2) 【第10回】 不完全競争と国際貿易 (1) 【第11回】 不完全競争と国際貿易 (2) 【第12回】 完全競争と貿易政策 (1) 【第13回】 完全競争と貿易政策 (2) 【第14回】 不完全競争と貿易政策 【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	期末試験のみで評価します。								
フィードバックの内容	適宜理解度を測る調査を行い、そのフィードバックを授業内にて行います。								
教科書	『コア・テキスト 国際経済学』大川 昌幸 (新世社) 2015								
指定図書									
参考書	『国際経済学をつかむ』石川他 (有斐閣) 2013、『国際経済学』大畑・横山 (成文堂) 2016								
教員からのお知らせ	国際経済学 2 との併修が望ましいです。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									